

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第4項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成23年6月2日

【四半期会計期間】 第13期第1四半期（自平成22年4月1日至平成22年6月30日）

【会社名】 フューチャーベンチャーキャピタル株式会社

【英訳名】 Future Venture Capital Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 川分陽二

【本店の所在の場所】 京都府京都市中京区烏丸通錦小路上ル手洗水町659番地
烏丸中央ビル8階

【電話番号】 075-257-2511

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 鈴木智久

【最寄りの連絡場所】 京都府京都市中京区烏丸通錦小路上ル手洗水町659番地
烏丸中央ビル8階

【電話番号】 075-257-2511

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 鈴木智久

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成22年8月12日に提出いたしました第13期第1四半期報告書（自平成22年4月1日至平成22年6月30日）の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、訂正後の四半期連結財務諸表については、京都監査法人により四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

また、四半期連結財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所についてはXBRLの修正を行いましたので、併せて修正後のXBRL形式のデータ一式（表示情報ファイルを含む）を関連書類として提出いたします。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

4 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

第5 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

注記事項

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係）

3 【訂正箇所】

訂正箇所は_を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

連結経営指標等

回次		第12期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第13期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第12期
会計期間		自平成21年4月1日 至平成21年6月30日	自平成22年4月1日 至平成22年6月30日	自平成21年4月1日 至平成22年3月31日
売上高	(千円)	59,572	103,444	362,654
経常損失()	(千円)	188,028	298,999	4,033,750
四半期(当期)純損失()	(千円)	23,409	30,071	599,460
純資産額	(千円)	13,031,981	9,129,732	9,440,741
総資産額	(千円)	14,949,386	10,635,488	11,011,083
1株当たり純資産額	(円)	24,635.95	8,285.35	8,855.63
1株当たり四半期 (当期)純損失金額()	(円)	678.64	645.04	16,311.33
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	5.7	3.7	3.7
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	284,877	148,049	954,285
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	14,104	9,518	<u>36,418</u>
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	102,589	23,394	164,493
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	4,399,895	<u>3,528,970</u>	<u>3,690,896</u>
従業員数	(名)	46	38	42

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式は存在しておりますが、いずれも1株当たり四半期(当期)純損失であるため記載しておりません。

(訂正後)

連結経営指標等

回次		第12期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第13期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第12期
会計期間		自平成21年4月1日 至平成21年6月30日	自平成22年4月1日 至平成22年6月30日	自平成21年4月1日 至平成22年3月31日
売上高	(千円)	59,572	103,444	362,654
経常損失()	(千円)	188,028	298,999	4,033,750
四半期(当期)純損失()	(千円)	23,409	30,071	599,460
純資産額	(千円)	13,031,981	9,129,732	9,440,741
総資産額	(千円)	14,949,386	10,635,488	11,011,083
1株当たり純資産額	(円)	24,635.95	8,285.35	8,855.63
1株当たり四半期 (当期)純損失金額()	(円)	678.64	645.04	16,311.33
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	5.7	3.7	3.7
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	284,877	148,049	954,285
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	14,104	9,518	<u>763,581</u>
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	102,589	23,394	164,493
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	4,399,895	<u>2,728,970</u>	<u>2,890,896</u>
従業員数	(名)	46	38	42

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式は存在しておりますが、いずれも1株当たり四半期(当期)純損失であるため記載しておりません。

第2 【事業の状況】

4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

(訂正前)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「キャッシュ」という。)は、前連結会計年度末より161百万円減少し、3,528百万円となりました。当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(省略)

(訂正後)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「キャッシュ」という。)は、前連結会計年度末より161百万円減少し、2,728百万円となりました。当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(省略)

第5 【経理の状況】

1 【四半期連結財務諸表】

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失()	192,487	301,100
減価償却費	4,448	4,060
投資損失引当金の増減額(は減少)	708,724	64,923
賞与引当金の増減額(は減少)	10,352	2,642
退職給付引当金の増減額(は減少)	798	1,269
受取利息及び受取配当金	3,583	3,795
資金原価及び支払利息	11,570	10,452
有形固定資産除却損	2,553	-
営業投資有価証券の増減額(は増加)	642,924	132,243
未収入金の増減額(は増加)	9,983	435
未払金の増減額(は減少)	19,199	7,867
前受金の増減額(は減少)	7,849	1,782
預り金の増減額(は減少)	6,843	3,177
その他	20,587	20,278
小計	265,229	123,443
利息及び配当金の受取額	4,638	2,470
利息の支払額	12,540	10,471
法人税等の支払額	11,746	16,605
営業活動によるキャッシュ・フロー	284,877	148,049
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	1,209	-
敷金及び保証金の差入による支出	3,213	436
敷金及び保証金の回収による収入	14,752	9,756
その他	3,775	198
投資活動によるキャッシュ・フロー	14,104	9,518
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	33,490	33,825
新株予約権の行使による株式の発行による収入	-	14,004
少数株主に対する分配金による支出	65,637	-
その他	3,461	3,573
財務活動によるキャッシュ・フロー	102,589	23,394
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	373,362	161,925
現金及び現金同等物の期首残高	4,773,257	3,690,896
現金及び現金同等物の四半期末残高	1, 2 4,399,895	1, 2 3,528,970

(訂正後)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失()	192,487	301,100
減価償却費	4,448	4,060
投資損失引当金の増減額(は減少)	708,724	64,923
賞与引当金の増減額(は減少)	10,352	2,642
退職給付引当金の増減額(は減少)	798	1,269
受取利息及び受取配当金	3,583	3,795
資金原価及び支払利息	11,570	10,452
有形固定資産除却損	2,553	-
営業投資有価証券の増減額(は増加)	642,924	132,243
未収入金の増減額(は増加)	9,983	435
未払金の増減額(は減少)	19,199	7,867
前受金の増減額(は減少)	7,849	1,782
預り金の増減額(は減少)	6,843	3,177
その他	20,587	20,278
小計	265,229	123,443
利息及び配当金の受取額	4,638	2,470
利息の支払額	12,540	10,471
法人税等の支払額	11,746	16,605
営業活動によるキャッシュ・フロー	284,877	148,049
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	1,209	-
敷金及び保証金の差入による支出	3,213	436
敷金及び保証金の回収による収入	14,752	9,756
その他	3,775	198
投資活動によるキャッシュ・フロー	14,104	9,518
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	33,490	33,825
新株予約権の行使による株式の発行による収入	-	14,004
少数株主に対する分配金による支出	65,637	-
その他	3,461	3,573
財務活動によるキャッシュ・フロー	102,589	23,394
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	373,362	161,925
現金及び現金同等物の期首残高	4,773,257	2,890,896
現金及び現金同等物の四半期末残高	1, 2 4,399,895	1, 2 2,728,970

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

(訂正前)

前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結 貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 現金及び預金 4,399,895千円 現金及び現金同等物 4,399,895千円	1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結 貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 現金及び預金 3,528,970千円 現金及び現金同等物 3,528,970千円
2 現金及び現金同等物のうち当社が管理・運営する 投資事業組合の残高 現金及び預金 4,376,769千円	2 現金及び現金同等物のうち当社が管理・運営する 投資事業組合の残高 現金及び預金 3,402,057千円

(訂正後)

前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結 貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 現金及び預金 4,399,895千円 現金及び現金同等物 4,399,895千円	1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結 貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 現金及び預金 3,528,970千円 計 3,528,970千円 <u>預入期間が3か月超の定期預金</u> 800,000千円 現金及び現金同等物 2,728,970千円
2 現金及び現金同等物のうち当社が管理・運営する 投資事業組合の残高 現金及び預金 4,376,769千円	2 現金及び現金同等物のうち当社が管理・運営する 投資事業組合の残高 現金及び預金 2,602,057千円

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年6月2日

フューチャーベンチャーキャピタル株式会社
取締役会 御中

京都監査法人

指定社員 公認会計士 水野 訓 康 印
業務執行社員

指定社員 公認会計士 高田 佳 和 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているフューチャーベンチャーキャピタル株式会社の平成22年4月1日から平成23年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成22年4月1日から平成22年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、フューチャーベンチャーキャピタル株式会社及び連結子会社の平成22年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

追記情報

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は四半期連結財務諸表を訂正している。当監査法人は訂正後の四半期連結財務諸表について四半期レビューを行った。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が四半期連結財務諸表に添付する形で別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。